

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒162-0056
 住 所 東京都新宿区若松町33番8号
 氏 名 株式会社ヒューテックノオリン
 代表取締役社長 綾 宏将 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ヒューテックノオリン		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市川崎区東扇島17-4		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	47	倉庫業
主たる事業 の内容	冷凍・冷蔵食材の保管配送		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		1,940 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度 ～ 平成30年度 (報告年度 平成29年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,878 t-CO ₂ (調) 3,809	(実) 3,958 t-CO ₂ (調) 3,887	(実) 3,964 t-CO ₂ (調) 3,893	(実) t-CO ₂ (調)	(実) 3,839 t-CO ₂
削減率		(実) -2.1 % (調) -2.0	(実) -2.2 % (調) -2.2	(実) % (調)	(実) 1.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	延床面積		単位	t-CO ₂ /m ²	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.07320	0.07471	0.07482		0.07246
削減率		-2.1 %	-2.2 %	%	1.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	冷却設備や昇降機等の主要設備の運転管理、定期的なメンテナンスを実施し、また空調設備の管理に努めたが、物量の増加により稼働時間が伸びたため基準年度比で2.1%（80t-CO ₂ ）の増加となった。
第2年度	電灯の間引き、休憩時間は消灯する等の節電対策に努め、業務時間に合わせた冷却設備の運転管理、定期的なメンテナンスを実施したが、物量の増加に連動して稼働時間が伸びたため、基準年度比で2.2%（86t-CO ₂ ）の増加となった。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

温室効果ガスの排出量削減目標を全社で年平均1%以上と設定している。

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○主要設備等の保安全管理 ○空気調和の管理 ○受変電設備の適正管理 ○ブロワー、コンプレッサー保安全管理 ○照明設備の運用管理 ○昇降機の保守 ○事務用機器 ○その他
	第1年度	<p>主要設備の必要最小限の運用と管理に努めたほか、トラック接車時にドックシェルターとの隙間からの外気流入を防止し、庫内の温度上昇防止を徹底した。</p> <p>その他、作業範囲外、作業時間外の消灯を徹底し、事務所内全てと倉庫内の一部に省エネ型照明を導入した。また乗用エレベーターの利用制限も行っている。</p>
	第2年度	<p>主要設備の必要最小限の運用と管理に努めたほか、トラック接車時にドックシェルターとの隙間からの外気流入を防止し、庫内の温度上昇防止を徹底した。</p> <p>また全照明設備LED化に向けての現状調査を実施し、平成30年度にLED照明化を予定している。</p>
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	無し。
第1年度	無し。
第2年度	無し。
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	1. 廃棄物の減量化・分別化の推進を図る。 2. 従業員の通勤は、公共機関の利用を促進する。
第1年度	1. 廃棄物の減量化・分別化を推進した。 2. 従業員の通勤は、公共機関の利用を促進した。
第2年度	1. 廃棄物の減量化・分別化を推進した。 2. 従業員の通勤は、公共機関の利用を促進した。
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	3,815	t-CO ₂
(調)	3,721	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
東京臨海支店 第一センター 2課	神奈川県川崎市東扇島17-4			1,448 t-CO ₂
東京臨海支店 第二センター	神奈川県川崎市東扇島29-1			1,222 t-CO ₂
東京臨海支店 第一センター 1課	神奈川県川崎市東扇島17-3			1,145 t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k1 未満	
300~400k1 未満	
200~300k1 未満	
100~200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--